

テックドクターによる現地診断 (宮崎県延岡市北川町)

- ・令和5年度防災カルテ点検において、新たな変状が確認された2箇所について、テックドクターに現地診断をしていただき、意見を伺った。
- ・開催日:令和6年3月6日
- ・参加者:TEC-Doctor(宮崎大学 横田名誉教授、末次教授)、延岡河川国道事務所、延岡国道維持出張所 点検コンサルタント

● テックドクターによる現地診断・検討会



【新たな変状及び現地条件】

- ①歩道路面にクラックが生じ、5cm程度の沈下が発生している。また、クラック箇所には20cm程度の空洞が生じている。
なお、当該箇所は河川の増水により道路の冠水が生じることがある。
- ②ブロック積上部等に施工された張出歩道の桁受コンクリートにひび割れが発生したほか、ブロック積の水平目地に新たな開きが生じている。なお、当該箇所は河川の増水によりブロック積の基礎部まで浸水することがある。

【TEC-Doctorの見解】

- ①ブロック積に変状が見受けられないことから、河川の増水により舗装路面のクラック部から土砂が吸い出されたと考える。よって、空洞箇所を含め修繕することが必要である。また、他で同様な事象が発生している箇所においてもシール材を施し、吸い出し防止対策を行うことが望ましい。
- ②ひび割れは桁受コンクリート基礎部の沈下・傾倒により発生したと考える。水平目地の開きは河川の増水に伴う、ブロック積背面土砂の吸い出しによる緩みと考える。よって、維持的補修を行うことが必要である。

現行：カルテ点検 今後：カルテ点検 (※②新たに設けた観測箇所を含め監視を継続していく必要がある)